

令和2年度アドミッション・センター活動報告

アドミッション・センター長 瀨 瀬 守

令和2年4月教育推進・学生試験機構を改組、今年度から機構にアドミッション・センターを設置し、センターに全学入学試験委員会を構成組織として持ちながら、入学者選抜実施部門と入試広報・調査研究部門を置くこととした。

I 全学入学試験委員会

全学入学試験委員会の議事について表1に示す。

表1 全学入学試験委員会

開催日	主な議題
4月22日 (Web開催)	報告事項 1. 令和2年度岐阜大学(学部・大学院)入学者選抜結果について 2. 前年度専門部会及び出題部会からの申し送り事項について 審議事項 1. 委員長代理について 2. 令和3年度入試以降の入学者選抜検討スケジュール(案)について 3. 令和3年度入学者選抜試験における情報処理日程(案)について 連絡事項 1. 令和3年度入学者選抜に向けた入試広報について 2. 令和2年度全学入学試験委員会の開催予定日等について 3. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う入学試験実施の判断について 4. 入試業務資料集(令和3年度入試用)について
5月18日 (Web開催)	報告事項 1. 岐阜大学入試統計資料集(令和2年度入試)について 2. 令和3年度入学者選抜関係日程について 審議事項 1. 委員の追加について 2. 医学部看護学科入学者選抜基準の一部改正(案)について 3. 岐阜大学オープンキャンパス2020について 4. 令和3年度一般選抜(前・後期)における試験場の検討(案)について 連絡事項 1. 高等学校等の臨時休業の実施等に配慮した令和3年度大学入学者選抜における総合型選抜及び学校推薦型選抜の実施について 2. 令和2年度第1回岐阜県大学入学共通テスト連絡会議の開催について 3. 私費外国人留学生選抜における日本留学試験成績利用の取り扱いについて
6月24日 (Web開催)	報告事項 1. 令和2年度岐阜大学入学試験個人成績及び調査書の開示請求件数について 審議事項 1. アドミッションポリシーの一部改正(案)について 2. 教育学部入学者選抜基準の一部改正(案)について 3. 地域科学部入学者選抜基準の一部改正(案)について 4. 医学部医学科入学者選抜基準の一部改正(案)について 5. 令和3年度入学者選抜に関する要項(案)について 6. 令和3年度特別選抜(学校推薦型選抜I・社会人・帰国生)学生募集要項(案)について 連絡事項

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン等について 2. 大学入学共通テスト実施等について 3. 入試業務資料集の追加配付について 4. 次回の開催日について
7月22日 (Web開催)	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 諸会議報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度国立大学入試担当課長連絡協議会 (2) 令和2年度岐阜県大学入学共通テスト連絡会議 2. 令和3年度応用生物科学部3年次編入学入学者選抜結果について <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学部アドミッションポリシーの一部改正(案)について 2. 教育学部一般選抜入学者選抜基準の一部改正(案)について 3. 令和3年度入学者選抜に関する要項及び特別選抜(学校推薦型選抜Ⅰ・社会人・帰国生)学生募集要項(日程)(案)について 4. 令和3年度一般選抜(追試験)に係る実施に向けた対応(案) 5. 令和3年度大学入試センター試験の試験場設定及び各学部(校舎)別志願者割当数等(案)について <p>連絡事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入試業務資料集の追加配付について
8月31日 (メール開催)	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会システム経営学環設置に伴う入学者選抜基準の制定及び入学者選抜に関する要項(案)について
9月30日	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度岐阜県高等学校長代表者と岐阜大学との懇談会 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学共通テストの試験場設定及び各学部(校舎)別の志願者割当数等(案)について 2. 大学入学共通テスト(特例追試験)「外国語」の取り扱いについて 3. 令和3年度入学者選抜試験における情報処理日程(案)について 4. 令和3年度岐阜大学学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項(案)について 5. 令和3年度岐阜大学私費外国人留学生選抜学生募集要項(案)について 6. 令和3年度一般選抜(追試験)実施(案)について 7. 令和3年度一般選抜と大学入学共通テストの試験問題の類似性の点検について 8. 一般選抜に係る英語ライティング問題の導入について <p>連絡事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度の国立大学の学部における定員超過に係る国立大学法人運営費交付金の取扱いについて 2. 令和2年度全学入学試験委員会開催日の変更について
10月28日	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度及び令和2年度(秋季入学)大学院入学者選抜結果について 2. 令和3年度工学部3年次編入学(推薦)入学者選抜結果について 3. Webオープンキャンパス2020アンケート集計結果等について <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【継続審議】令和3年度一般選抜(追試験)実施(案)について 2. 令和3年度岐阜大学一般選抜学生募集要項(案)について 3. 新型コロナウイルス感染症等による学校推薦型選抜Ⅱ及び一般選抜中止への対応(案)について 4. 岐阜大学オープンキャンパス2021の日程(案)について <p>連絡事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度大学入学共通テストの実施に向けたスケジュール等について 2. アカデミック・セントラル主催ウェビナーについて 「東海国立大学機構における高大接続・高大連携-大学のあるべき姿の実現に向けて-
12月1日	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度地域科学部学校推薦型選抜Ⅰ, 社会人, 帰国生, 3年次編入学入学者選抜結果について 2. 令和3年度医学部看護学科学部学校推薦型選抜Ⅰ, 社会人選抜入学者選抜結果について 3. 令和3年度工学部3年次編入学(一般)入学者選抜結果について

	<p>4. 令和3年度応用生物科学部学校推薦型選抜Ⅰ入学者選抜結果について</p> <p>5. 令和3年度大学入学共通テストの確定志願者数について</p> <p>審議事項</p> <p>1. 教育学部アドミッションポリシーの一部改正(案)について</p> <p>2. 【継続審議】新型コロナウイルス感染症等による学校推薦型選抜Ⅱ及び一般選抜中止への対応(案)について</p> <p>3. 「令和3年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン」に対応した入学者選抜(案)について</p> <p>4. 【継続審議】一般選抜に係る英語ライティング問題の導入について</p> <p>連絡事項</p> <p>1. 各学部責任者等への大学入試センター試験説明会について</p> <p>2. 入試業務資料集の追加配付について</p>
12月14日 メール開催	<p>審議事項</p> <p>1. 学校推薦型選抜Ⅱ(ぎふ清流入試)及び一般選抜前期日程における入試内容等の変更(案)について</p>
1月27日	<p>報告事項</p> <p>1. 令和3年度工学部3年次編入学(ツイニング・プログラム)入試入学者選抜結果について</p> <p>2. 令和3年度大学入学共通テスト実施状況について</p> <p>審議事項</p> <p>1. 教育学部入学者選抜基準一部改正(案)について</p> <p>2. 医学部医学科一般選抜実施方法変更(案)について</p> <p>3. 工学部入学者選抜基準一部改正(案)及び制定(案)について</p> <p>4. 令和3年度一般選抜(追試験)実施方法公表(案)について</p> <p>連絡事項</p> <p>1. 令和3年度一般選抜実施要領《試験実施本部と各試験場本部との連絡事項》について</p> <p>2. 令和3年度一般選抜監督要領について</p> <p>3. 令和3年度追加合格手続要項について</p> <p>4. 入試業務資料集の追加配付について</p>
3月26日	<p>報告事項</p> <p>1. 令和3年度入学者選抜結果について</p> <p>2. 令和3年度大学院入学者選抜結果について</p> <p>3. 令和3年度一般選抜(前期日程・後期日程)の実施状況について</p> <p>4. 令和3年度一般選抜(前期日程・後期日程)等において受験上の配慮申請のあった入学志願者について</p> <p>5. 令和2年度一般入試(後期日程-生物)及び令和3年度一般選抜(前期日程-英語)の採点ミスについて</p> <p>審議事項</p> <p>1. 大学院共同獣医学研究科入学者選抜基準改正(案)について</p> <p>2. 令和5(2023)年度 岐阜大学大学院連合農学研究科入学者選抜の選抜方法の変更(案)について</p> <p>連絡事項</p> <p>1. 令和4年度入学者選抜に向けた入試広報について</p> <p>2. 入試業務資料集(令和3年度入試用)の回収について</p>

Ⅱ 入学者選抜実施部門

1 各教科専門部会・出題部会・採点部会

国語、数学、物理、化学、生物、英語の各科目専門部会を5～8回、各科目出題部会を9～13回開催し、問題作成、点検等を行った。

また、専門部会主任および出題部会委員は、前・後期日程当日の当該科目試験時間に待機し、質問等に備え、各科目採点部会委員は、前・後期日程それぞれについて、採点、採点データ入力・確認等の業務を行った。

2 入試情報処理専門部会

二十数回開催し、学校推薦型選抜Ⅱ、一般選抜（前・後期日程）の各学部判定資料作成を始め、入試関係情報処理業務を行った。

3 活動内容及び成果

入学者選抜実施部門では、以下の3つの業務を所掌することとしている。

- 1 入学者選抜の実施に関すること
- 2 大学入試センターが実施する試験の実施に関すること
- 3 その他入学者選抜に関すること

一部組織の名称を変更しながら前年度の業務を継承して実施したが、令和2年度には特に以下の事項について新たに取り組んだ。

- 新型コロナウイルス感染症に対応した入学者選抜
- 新たに発足した東海国立大学機構アカデミック・セントラルとの連携の検討

Ⅲ 入試広報・調査研究部門

入試広報・調査研究部門では、以下の4つの業務を所掌することとしている。

- 1 オープン・キャンパス、大学説明会等の企画、立案及び実施に関すること。
- 2 入学者選抜方法の改善に係る調査研究に関すること。
- 3 大学案内の作成に関すること。
- 4 その他入試に係る広報及び調査研究に関すること。

1 会議等

令和2年度の部門会議について表2に示す。

表2 入試広報・調査研究部門会議

開催日	主な議題
4月23日 (Web開催)	検討事項 1. 令和2年度 入試広報・調査研究部門構成員について 2. 令和元年度活動報告及び令和2年度の事業計画について 3. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 4. 大学案内2021版の作成について 5. その他 (1) 今年度予定されている学外大学説明会について (2) 令和2年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会の中止について (3) 新型コロナウイルス感染症における岐阜大学の活動指針について (4) 5月以降の会議開催日について
5月18日 (Web開催)	検討事項 1. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 2. バーチャル・オープンキャンパス構想について 3. 岐阜大学案内2021について 4. その他
6月15日 (Web開催)	検討事項 1. 大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドラインにつ

	いて 2. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 3. バーチャル・オープンキャンパスについて 4. 2018～2020年度志願者・入学者数について 5. その他
7月20日 (Web開催)	検討事項 1. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 2. 令和3年度入学者選抜について 3. バーチャル・オープンキャンパスについて 4. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル 高大接続連携部門の事業について 5. その他
9月14日	報告事項 1. 岐阜大学Webオープン・キャンパスについて 2. 令和2年度国立大学入試担当課長連絡協議会／中止・メールによる情報共有 検討事項 1. 令和3年度入学者選抜について 2. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル 高大接続連携部門の事業について 3. その他 (1) 今後の会議開催日程について (2) 岐阜大学案内について
10月5日	報告事項 1. 岐阜大学Webオープン・キャンパスについて 検討事項 1. 大学案内2022について 2. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル主催 Webinar について 3. 高大接続・連携事業について 4. その他 (1) 今後の会議開催日程について
11月2日	報告事項 1. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル主催 Webinar について 2. 各学部の入試広報活動について (情報共有) 3. 国立12大学・東海地区主要大学合同説明会について 4. 岐阜大学Webオープン・キャンパスについて 検討事項 1. 大学案内2022作成方針について 2. その他
12月7日 (メール開催)	報告事項 1. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル主催 Webinar について 2. 令和3年度年度計画(案)について 3. 岐阜大学案内2022について
1月25日 (メール開催)	報告事項 1. 東海国立大学機構執行部との領域別対話(入学者選抜)について
3月8日	検討事項 1. 令和2年度活動報告について 2. 令和3年度に開催される学外進学説明会等について 3. その他 (1) 大学案内2022の初校確認について

第1回部門会議において、令和元年度活動報告、令和2年度年度計画及び活動計画を確認したが、同時に新型コロナウイルス感染症の拡大によるオープン・キャンパス等の広報活動の見直しについて、検討しなければならない状況であった。

2 活動内容及び成果

【広報活動】

○オープン・キャンパス

例年、8月中旬に6千数百人を集めるオープン・キャンパスは、コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み中止することとし、それに代えて「Webオープン・キャンパス」を総務課広報係の協力を得て企画・実施することとした。「“岐大生に聞こう”何でも相談会」、「キャンパス・ツアー」などの企画と合わせ、各学部が作成したWebページや動画とリンクし、9月末までのアクセス件数は14,000件を超え、参加者アンケートも好評であった。

○大学案内

「大学案内2021」を完成させ、広く広報活動に活用した。また、「大学案内2022」の作成方針を決定し、原稿の作成、初校の校正依頼を行った。

○高校生の大学見学会・高校における説明会

令和元年度8回（県内4、県外4高校）の高校生が本学を訪れた大学見学会は、令和2年度はすべて中止となった。また、高校へ出向く進学説明会は、県内3高校であった。

○大学説明会

新聞社や国立12大学共催の大学説明会は、令和元年度は5回参加したが、中止を余儀なくされた説明会が多く、令和2年度は10月に開催された2回であった。

【高大接続】

○岐阜県高等学校長代表者との懇談会（R2.7.27）

大学・高校双方の新たな情報や意見交換等を中心とし、例年実施する施設見学会を取り止め、陪席者も減らして実施した。懇談会を通じて、県内高校のコロナウイルスに対応した学習状況や大学のWebオープン・キャンパス計画等の情報を共有することができた。

【調査分析】

○全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会、国立大学入試担当課長連絡協議会

新型コロナウイルス感染症拡大により中止、資料配付のみとなった。要点となる資料は部会で情報共有した。

○教学IRデータセットの活用

広報等に活用いただくよう過去3年間の学部別・入試区分別・高校別の志願者・入学者等の集計データを各学部部門員に配付した。

【東海国立大学機構との連携】

○アカデミック・セントラル主催Webinar

今後の活動を視野に機構を構成する両大学の連携を深めるため、入試広報や入学者選抜等について両大学の現状を整理し、それぞれの大学の特性を發揮できるよう今後の在り方を検討するウェビナーを企画した。文部科学省及び両大学から話題提供し、東海国立大学機構アカデミック・セントラル及びアドミッション・センターの今後を展望する端緒とすることができた。

3 課題及び次年度の取組方針

例年実施する広報活動、高大接続に係る活動を継続する。

加えて、昨年度検討を重ねた新たな大学入学共通テストの方針が変更されたこと、令和4年度に入学する高校生から新学習指導要領が適用されること、東海国立大学機構アカデミック・セン

トラルとの連携など、新たな検討課題に取り組むことが求められる。

【入学者選抜方法】

○英語4技能評価、学力の3要素の評価及び新学習指導要領

大学入学共通テストの国語、数学の記述式問題や英語の民間試験の導入を見送ることになったこと、学力の3要素の多面的・総合的評価を求められていることについては、文部科学省「大学入試のあり方に関する検討会議」や「大学入学者選抜における多面的な評価の在り方に関する協力者会議」で検討されている。それに対応した選抜方法と併せて、新学習指導要領に対応した入学者選抜方法を令和5年4月頃には公表し、令和7年度入試（同6年度実施）から実施しなければならないので、令和3年度にはその検討を開始する。

【東海国立大学機構アカデミック・セントラルとの連携】

○広報活動

アカデミック・セントラル高大接続連携部門を枠組みとして広報活動を展開する。

【新たな連携組織の設立】

○入学者選抜関連

入学者選抜体制の情報共有等、連携を検討するための新たな組織を設けることが、東海国立大学機構執行部との領域別対話で求められた。

以上

令和2年度基盤教育センター活動報告

センター長 山田 敏弘
副センター長 瀨瀬 守
 廣内 大輔
 白村 直也

1. 会議等の記録

令和2年度から組織改編で機構の教養教育推進部門から基盤教育センターとなり、全学共通教育に関する業務を中心に担当することとなった。執行部は、センター長と3名の副センター長であり、基盤教育センターに関する専権事項の決裁ならびに基盤教育センター企画運営会議の議事を議論した。基盤教育センター運営会議では、執行部に加えて、人文、社会、自然、スポーツ健康科学、英語、第2外国語、複合領域、日本語日本事情の各専門部会長に、機構等職員数名を加え、報告・審議を行い、委員の意見を反映させた後、必要な項目について、全学教学委員会に諮った。

表1 基盤教育センター運営会議

開催日	主な審議議題
6月8日	第1回基盤教育センター企画運営会議 1. 令和2年度非常勤講師採用計画の一部変更について 2. 令和2年度教育推進・学生支援機構基盤教育センター推進費（前期分）の配分について 3. 令和2年度後学期授業時間割案について
7月6日	第2回基盤教育センター企画運営会議 1. 令和2年度前学期定期試験の実施について 2. 令和2年度大学以外の教育施設における学習単位の認定について 3. 令和2年度前学期授業アンケートについて 4. 教育推進・学生支援機構基盤教育センターに関する規定等の改正について
9月7日	第3回基盤教育センター企画運営会議 1. 「岐阜学」について
10月5日	第4回基盤教育センター企画運営会議 1. 令和2年度非常勤講師採用計画の一部変更について

	<p>第5回基盤教育センター企画運営会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度教育推進・学生支援機構基盤教育センター推進費（後期分）の配分について 2. 令和Ⅲ年度開講授業計画について
12月7日	<p>第6回基盤教育センター企画運営会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度前学期履修申請日程（案）について 2. 令和3年度開講科目授業計画（新規開講科目含む）について 3. 岐阜大学全学共通教育の質保証に関する要項について 4. （学修支援部会企画）FD・SDの開催について
1月6日	<p>第7回基盤教育センター企画運営会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度非常勤講師採用計画について 2. 令和3年度後学期定期試験の実施について 3. 令和3年度前学期授業時間割（案）について 4. イノベプログラム終了について
2月1日	<p>第8回基盤教育センター企画運営会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育推進・学生支援機構基盤教育センターに関する規定等の改正について 2. 令和3年度非常勤講師採用計画の一部変更について
3月1日	<p>第9回基盤教育センター企画運営会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岐阜大学全学共通教育科目に関する規程の一部改正について 2. 令和3年(2021年)度非常勤講師採用計画の一部変更について 3. 令和2年度イノベ・プログラムの修了認定について

2. 活動内容及び成果

コロナ禍で始まった令和2年度は、非常事態宣言下で5月までは基盤教育センター運営会議を開くこともままならず、大学のBCPに基づき6月から対面授業を再開するべく尽力するのみであった。

○例年5月に開催されている国立大学教養教育実施組織会議も中止となり、情報交流も遅滞した年度となったが、反面、下記に挙げるようなコロナ禍ならではのFDを副センター長である廣内・白村両先生により複数回開催され、授業実施に関する情報交換も多数できた。

FD・SD

第1回 10月9日

「コロナ騒ぎと大学教育の踏ん張りどころ」

講師 廣内大輔

第2回 11月18日

「学生の課外活動を支援する体制作りとモチベーションを引き出す支援のあり方」

講師 田口めぐみ氏（明治学院大学モダンティアコーディネーター）

第3回 12月21日

「Teams た Zoom を遠隔授業でどう活用するか？」

講師 川上ちひろ・今福輪太郎・早川佳穂、島崎治子

（岐阜大学医学教育開発研究センター共催）

内容 医学部医学科1年生向け「地域体験実習」を遠隔授業で行った報告、及び、全共英語プログラムのオンライン授業対応の様子の報告。

第4回 2月17日

「キャリア教育におけるカリキュラムと組織のマネジメント」

講師 中川洋子氏（立命館大学共通教育推進機構教授）

内容 大学におけるキャリア教育について、立命館大学の実践から報告。

○ニューズレターについても、通算第33号を令和2年12月に発行した。コロナ禍での学生の声と特徴的な授業という特集を組み、充実した内容となった。今年度は、名古屋大学とのアカデミックセントラル(AC)会議において、協働で進めるべき事業を選定することが進んでいるが、一歩先んじて授業見学を行い報告できた点でも益あることとなった。

3. 課題及び次年度の取組方針

何よりコロナ禍に明け暮れた一年となった。全学共通教育の授業も、特に前期は遠隔授業に慣れていない教員も学生も戸惑いの中での試行錯誤となった。中には、対面授業を基本とするという大学本部の方針に反対する意見もあったが、多くの先生はこの状況でできることを模索して最善の授業をしてくださった。感謝しかない。身体的接触を避けられないスポーツ健康科学科目では、休講措置を執らなければならない科目も出たが、部会として議論の上、臨機応変に対応して下さるなどの工夫をしてくださった。

コロナ禍を受身に捉えるばかりではなかった点が、この大学の教員のすばらしいところである。流域圏科学研究センターの小山先生は、遠隔授業の強みを活かして、名古屋大学との協働授業を新たに立ち上げるなどの工夫をなされるなど、これまで物理的距離が障壁となつてできなかった試みをしてくださった。遠隔はデメリットも多いが、メリットもあると感じさせる授業が、全共科目からも見られたことは、新たな試みができる可能性が広がった。

ただ、授業の戸惑いも依然として大きい。後期は年末年始にかけて急速な感染拡大が見られ、本学でも罹患者が出るなど対応に追われることもあった。対面授業を基本としながらも状況の変化には臨機応変対応して下さった先生方も多いが、一方で、遠隔を取り入れると言っても、一朝一夕にできないという声も聞かれる。汎用性のある授業方法の提案

も、全共では行っていかなければならない。103 教室に導入された遠隔教育にも使える授業記録装置を、すべての全共教室に配備するなど、皆が当たり前に対面も遠隔もできるような環境作りが今後課題となる。

FD も教養講演会も、前年度とは比べものにならないくらいに少なくなった。今年度はそれでもできる範囲で開催できたことをもって是としたい。ただし、内容として、偏りがあったことは否めない。特に、コロナ禍に関するものが多くなったことは、それはそれで現状に即した話題であったと言えるが、少し幅広く取り上げることができなかった点は、来年度改められなければならない。また、特に、FD の実施方法が zoom の使用により、遠隔地からの参加が容易になった反面、内容が検討不十分なまま公開することになった回もあり、事前に執行部等で内容を揉んでおくことが徹底されることとなった。大学の名前で言う FD である。より充実した内容とし回数を増やしていくことが来年度の課題である。

改革すべきこととして、複合領域を岐阜学として再整備すること、第 2 外国語を文化を中心とした外国（語）事情として 2 単位化すること、データサイエンス科目の立ち上げがある。岐阜学への移行は、令和 3 年度から実施予定であったが、他の科目の編成と合わせて令和 4 年度からの変更と改めた。じっくり時間をかけて討論することができることになったため、そのあり方について十分な議論を経て学生にとってよりよい内容にしていかなければならない。第 2 外国語についても、不要論も聞かれる中で、多様な学問を主題として謳う全共科目では必要な科目であると考えている。よりよい内容となるよう整備を急ぎたい。

さらに、年度末には、入学生がレポートを書く基礎力となる日本語力と、キャリア教育とも関連付けて卒業時まで身に付けたい社会コミュニケーション能力に関する「日本語表現」の検討も始まった。全学共通教育が単に、高校の延長線上にある 1 年次のつなぎ科目ではなく、これからの時代に求められる力を大学生の時代を通じて養っていく場となるよう、高年次での受講も組み込みつつ、岐阜大学の教育の目玉となるよう取り組んでいく。

(文責 基盤教育センター長 山田敏弘)

令和2年度学生支援センター活動報告

センター長 横田 康成
副センター長 熊谷 佳代

1. 会議等の記録

学生支援センター運営委員会を表1に示すように5回開催した。

表1 学生支援センター運営委員会

開催日	主な審議議題・報告事項
6月15日	<サポート・ルーム> 平成31年度学生支援実施数報告について <就職支援室> 令和2年度就職活動支援ガイダンス（後学期予定等）について <学生生活支援> 課外活動再開の具体的方策について
11月18日	<サポート・ルーム> 令和2年度学生支援実施数報告について <就職支援室> 令和2年度就職活動支援ガイダンス等について 令和2年度卒業予定者の求人・求職・就職内定状況について <学生生活支援> 令和2年度課外活動支援事業実施要項の改定について
12月15日	<学生生活支援> 令和2年度課外活動支援事業について
12月23日	学生支援センターの改組について
3月10日	<サポート・ルーム> 令和2年度支援実施報告（令和2年4月～令和3年2月）について 令和3年度合理的配慮を要する学生について <就職支援室> 令和3年度就職活動支援ガイダンス（予定）等について 令和2年度卒業予定者の求人・求職・就職内定状況について <キャリア支援>

	基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業について < 学生生活支援 > 令和 3 年度学生団体設立承認について 春祭について 副学長表彰について
--	--

2. 活動内容及び成果

1. サポート・ルームにおける障害学生支援

サポート・ルームでは、発達障害等の学生に対して合理的配慮の方策を立案し、各学部等と連携しながら支援を実施してきた。その支援取組を継続させるべく、実施記録を学生支援センター運営委員会委員及び各学部等学務系職員の間で情報共有することにより、支援現場において、より手厚い実質的な障害学生支援を実施することができた。

2. 就職支援室における学生のための就職支援

就職支援室においては、就職活動支援ガイダンス及び就活に必要なスキルが習得できる就活セミナー等を主催してきた。この取組は、新型コロナウイルス禍においてもオンラインで開催され、一部の企画では名古屋大学との相互協力もあって就活学生にとって大きな支援となったと思われる。これら取組についても、開催予定内容を学生支援センター運営委員会委員及び各学部等学務系職員の間で情報共有することにより、全学的な就職支援を実施することができた。

3. 新型コロナウイルス禍における課外活動支援事業の実施

課外活動の活性化を目的として、申請のあった 18 団体に対し 1,769 千円を支援した。新型コロナウイルス感染症蔓延により、令和 2 年度は全国大会等が中止となったため、令和 3 年度は、競争的経費を考慮せず、経常的経費のみ支援することを本センター運営委員会で議決した。新型コロナウイルス禍という前例のない状況においても、課外活動に対してより効果的な支援方策を立てることができたと考える。

4. 令和 3 年度学生団体設立の承認

学生団体から提出のあった継続団体及び新規団体に対して、設立を承認した。

5. 学生支援センターの改組について

キャリア教育は、就職支援と密接な繋がりがあること等に鑑み、キャリア教育部会の機能の一部を基盤教育センターから学生支援センターへ令和 3 年 4 月に移設すること

を決議した。

また、教育的観点及び医学的観点の両視点からワンストップの学生支援ができる体制を構築すべく、障害学生支援室（サポート・ルーム）を本センターから保健管理センターへ令和3年4月に移設することを決議した。

3. 課題及び次年度の取組方針

令和2年4月に発足した本センターは、障害学生支援、就職支援及び課外活動等の学生生活支援に取り組んできたが、令和3年度からは、本センター内にキャリア・就職支援センターを設置し、就職支援、キャリア教育及び学生生活支援に取り組むこととなる。

次年度においては、本センターと障害学生支援室の移設先である保健管理センターがより密接な連携を取り、学生支援ワンストップ体制をキーワードとして、学生支援に取り組む必要がある。

4. 令和2年度学生支援センター運営委員会委員

所 属	役 職	氏 名
センター長(副機構長)	教授	横 田 康 成
副センター長(サポート・ルーム室長)	教授	熊 谷 佳 代
学生支援センター(サポート・ルーム)	特任助教	塩 田 翔 一
学生支援センター(キャリア支援)	特任准教授	白 村 直 也
教育学部	教授	松 永 洋 介
地域科学部	准教授	南 出 吉 祥
医学教育開発研究センター	講師	川 上 ちひろ
医学部看護学科	助教	小 島 愛 子
工学部	教授	小 嶋 智
応用生物科学部	准教授	柳 瀬 笑 子
地域協学センター	助教	塚 本 明日香
保健管理センター	教授	西 尾 彰 泰
学生支援課長	課長	大久保 淳

令和2年度教職課程支援センター活動報告

センター長 石川 英志

1. 会議等の記録

会議の実施日と主な審議議題は以下の表1のとおりである。

表1 教職課程支援センター会議

開催日	主な審議議題
6月23日 (メール会議)	1. 2020年度履修登録取消願の様式変更について 2. 2020年度前学期非常勤講師の採用について 3. 2020年度教育実習・養護実習について 4. 2020年度教職実践演習について 5. 2020年度「教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会」について 6. 2020年度全学共通教職科目開講授業について
9月17日	1. 2020年度教育実習の科目の扱いに関する特例措置に対する対応について 2. 2020年度後学期全学共通教職科目の開講について 3. 2020年度教職実践演習について 4. 2020年度後学期非常勤講師の採用について 5. 2021年度教育実習・養護実習の実習予定校について 6. 2021年度 教育実習事前指導・教育実習ガイダンスの実施日について
11月25日	1. 令和2年度教育実習・養護実習事後指導について 2. 教育実習に向けての麻疹等抗体非保有者の指導・取り扱いについて 3. 令和3年度全学共通「教職課程」の授業予定について 4. 令和3年度教育実習・養護実習事前指導について 5. 2020年度岐阜県教員免許状更新講習に係る学内分配金について
2月2日	1. 2021年度教職課程要覧について 2. 教育実習の受講資格の変更について 3. 2021年度岐阜県教員免許状更新講習の開催について
3月30日 (メール会議)	※審議議題無し、報告事項（次年度ガイダンス、実習計画等）のみ

2. 活動内容及び成果

(1) 「教職課程」受講者数と教員採用試験結果

表2, 表3に示すように, 1年次生から4年次生まであわせて, 前学期147名, 後学期137名が, 「教職課程」を受講した。

次に, 教員採用試験結果について表4に示す。現役4年次生9名が教員採用試験を受け, 一次試験合格者は6名, 二次試験合格者(正規教員)は4名であった。なお, 教職課程を受講した既卒者の受験や合格に関するデータは反映されていない。また, 講師に関しても表中に反映されていないが, 常勤講師3名, 非常勤講師2名が確定している(2021年3月31日現在)。

表2 2020年度前学期 全学共通「教職課程」受講者数

学 年	合 計	内 訳				
		工学部	応用生物科学部		医学部	自然科学 技術研究科
		応物コース	生産環境	応用生命	看護学科	
1年次	54	11	23	20		
2年次	31	4	14	13		
3年次	35	4	16	8	7	
4年次	25	2	3	9	11	
院 生	2					2
合 計	147	21	56	50	18	2

表3 2020年度後学期 全学共通「教職課程」受講者数

学 年	合 計	内 訳				
		工学部	応用生物科学部		医学部	自然科学 技術研究科
		応物コース	生産環境	応用生命	看護学科	
1年次	47	9	21	17		
2年次	29	3	14	12		
3年次	34	4	15	8	7	
4年次	25	2	3	9	11	
院 生	2					2
合 計	137	18	53	46	18	2

表4 2020年度・教員採用試験結果

学部	区分(教科)	一次選考試験		二次選考試験	
		受験者	合格者	受験者	合格者
工学部	高等学校教諭(数学)	1	1	1	1
応用生物科学部	高等学校教諭(理科)	1	0	0	0
	高等学校教諭(農業)	0	0	0	0
医学部看護学科	養護教諭	7	5	5	3

(2) 教職課程の充実に向けた方策について

教職課程の充実を直接的、間接的に図る方策として2020年度に実施した項目は次のとおりである。

① 今次改訂学習指導要領への対応、生徒指導・教育相談に関する学生の知見の充実に向けた教職専門科目の構想と実践

高等学校では、今次改訂の学習指導要領が令和4年度より全面実施となる。これに対応して、新設の「総合的な学習の時間及び特別活動等の指導法」等の構想、実施・省察等を昨年度より進めてきた。また、今年度コロナ禍という厳しい制約のもとにあったが、生徒指導や教育相談に関する知見がますます重要となっていることをかんがみて、一般学部学生であっても心理教育活動を体験し今後活用できることを目的とした実践を教職専門科目のなかに織り込んで試行展開した。その一端は今年度センター紀要第4号に示したとおりである。

② センタースタッフと各学部教職専門科目等授業担当者との連携

教職課程運営や教職専門科目の改善や充実にあたって、教職課程支援センターと学部(工学部・応用生物科学部・医学部看護学科)との連携は欠かせない。今年度も、こうした連携を継続的に推進することを目的として、同センターと各学部教職専門科目等授業担当者との対面会議(「教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会」)を年度末の2月に開催した。今年度を通しての学生の学修に関する情報の交換・共有、指導の現状と課題等について協議し、次年度に向けて、一貫性をもった教職課程のカリキュラムの構築と指導の充実を図るための協議を展開することができた。

③ 教職課程支援センター紀要第4号発刊

29年度に本センター紀要の創刊号を出したが、今年度も第4号を継続発刊することができた。発刊の意図は、紀要という装置を設けることによって、センタースタッフが自らの大学教育実践を分析・省察し、その基盤となる理論知と実践知の形成と充実を図ることにある。

そうした点は上記の①にも示したとおりである。今後も引き続いて進めていく予定である。

④ コロナ禍状況下の教員免許状更新講習の対応

今年度の岐阜県教員免許状更新講習は、新型コロナウイルス感染症対策のため、必修講習及び選択必修講習（複合型）については、文部科学省から通知のあった特例を活用し、急遽対面講習を通信式講習（DVD講習）へ変更し実施した。

DVD 動画の作成については、岐阜大学教育学研究科教員 10 名と岐阜聖徳学園大学教育学部教員 2 名が担当した。合計 1,687 名の受講者へ DVD 教材等を郵送し、試験についても郵送試験で実施した。なお秋期講習では試験のみ岐阜大会場にて実施した。

少人数で実施する選択講習及び選択必修講習（単独型）については、新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、対面講習のまま実施した。

次年度の岐阜県教員免許状更新講習は、今年度に引き続き特例を活用し、必修講習及び選択必修講習（複合型）については、インターネットによるオンデマンド配信で実施することが決定している。

令和 2 年度岐阜県教員免許状更新講習受講者数（岐阜大学開設分）

講習の種類	開設講習数	受講者数
必修講習	19 講習	1,294 名
選択必修講習（複合型）	13 講習	393 名
選択必修講習（単独型）	22 講習	571 名
選択講習	101 講習	1,458 名

※選択講習の受講者数は延べ数を示す。開設講習数には中止した講習を含む。

3. 課題及び次年度の取組方針

次年度も、工学部・応用生物科学部・医学部看護学科の教員免許取得希望者に対し、本センターで開講する教職専門科目が高校教員や養護教諭の養成に資する教育内容を提供しているかどうかを十分吟味し、個々の学生の状況に応じた丁寧な指導に努めていきたい。そのためにも、一般学部学生の学修に対応したセンタースタッフの教職専門科目の理論的・実践的な基盤の充実、教職課程支援センターと各学部との一層の連携等を図るとともに、岐阜県教育委員会や岐阜県内の高校に対して、岐阜大学が教育学部以外に教員免許状取得が可能な仕組み（組織体制）を用意し充実に努めていることを発信し広報していきたい。